

2019 年度バーチャルパワープラント構築実証事業への参画が決定 ～秒単位制御技術の確立と実用化に向けて～

株式会社 YAMABISHI (本社：東京都大田区、CEO：蓮池 一憲)は、このほど関西電力株式会社 (以下：関西電力) をアグリゲーションコーディネーター^{*1}とする関西 VPP プロジェクトコンソーシアムに実証協力事業者として参画します。経済産業省資源エネルギー庁の補助事業である「平成31年度需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント^{*2} (以下、VPP) 構築実証事業費補助金^{*3}」に申請し、補助金の執行団体である一般社団法人環境共創イニシアチブから 2019 年 5 月 30 日に採択決定と補助金交付決定を受けました。

▼「VPP 構築実証事業用蓄電システム」お問い合わせ URL▼

https://www.sotuu.net/yamabishi/release_2019_0702.html

実証事業全体の概要については関西電力株式会社ホームページ

(https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2019/pdf/0531_5j_01.pdf) をご参照ください。

本実証事業では、関西電力の構築した蓄電池群監視制御システム「K-LIBRA」と、遠隔から充放電制御可能な当社の産業用蓄電システム「YRWシリーズ」を連携させ、監視制御システムからの指令に対する蓄電池の応動時間や制御精度を検証することにより、電力系統における周期の短い負荷変動に対する蓄電池の応答性能を確認します。実証結果を踏まえ、実用化に向けた技術の確立を目指します。

蓄電池は、防災用緊急電源としての役割だけではなく、再生可能エネルギーの余剰電力の蓄電、電力の需給バランスの維持など、電力の効率化に貢献することが期待されています。当社は、本実証事業を通じてエネルギー利用の最適化や再生可能エネルギーのさらなる導入拡大を目指し、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1：リソースアグリゲーターが制御した電力量を束ね、一般送配電事業者や小売電気事業者と直接電力取引を行う事業者

※2：分散化された電源をIoT技術などの高度なエネルギーマネジメント技術を使って統合制御することで、あたかも一つの発電所のように機能させる仕組み

※3：経済産業省資源エネルギー庁が、VPPの構築に係る実証事業を行う経費に対して、当該費の一部を助成するもの

▼産業用蓄電システム「YRW シリーズ」の詳細はこちらから▼

https://www.yamabishi.co.jp/products/back_yrw/index.html

◆株式会社 YAMABISHI 会社概要

商号 : 株式会社 YAMABISHI (<https://www.yamabishi.co.jp>)

代表者 : CEO 蓮池 一憲

本社所在地 : 東京都大田区大森北 2-4-18

設立年月日 : 1958 年 3 月

主な事業の内容 : 電源装置の開発・製造・販売

◆本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 YAMABISHI 東京営業所 Tel : 03-3767-8861 mail:y-sales@yamabishi.co.jp